



# 年頭の御挨拶

大分県漁業協同組合 代表理事組合長  
中根 隆文



**JF大分**

水産おおいた

2026年  
1月

185号

発行元  
大分県漁協

新年、明けましておめでとうございます。

組合員、役職員の皆様方に謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、第64回農林水産祭において、本県の浪井丸天水産が水産部門（経営漁業経営改善）で天皇杯を受賞しました。小型ブリのブランド化を実現し、生産、加工、流通の一貫体制を構築したことなどが評価されたもので、県内の漁業関係者としては23年ぶり3回目の快挙となりました。地域養殖漁業の発展に大いに貢献するものと期待され、また今後の漁業を行ううえで参考となる取り組みであり、浜に明るい話題を提供したことができました。

その一方で、近年の高水温など漁場環境の変化は、本県における漁業の安定生産に大きな影を落としています。養殖業では一昨年から夏場の高水温によるブリの斃死や成長不良に起因する加工処理尾数の減少、漁船漁業ではヒジキの水揚量の減少などがありました。これらにより漁業者の経営はもとより、漁協の運営も大変厳しい状況となっています。

漁協としましては、こういった状況を打破し、豊かな海づくりのレガシーを次世代＝未来に継承すべく、引き続き組合員や関係機関と連携し、放流や流通、加工、販売など様々な事業を進めてまいります。特に信用事業譲渡を見据え、さらなる組織・業務の合理化と経営の健全化に取り組んでいかなければなりません。皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、11月18日に佐賀関地域で発生した大規模火災では、約190の家屋が焼失し、組合員も25名ほどの方々が被災しました。発生直後からこれまで、漁協の役職員の皆様をはじめ県内外の多くの皆様から温かいお見舞いの言葉や義援金など支援が寄せられております。紙面を借りて御礼申し上げますとともに、漁協としても早期の復興に努めてまいります。

結びに、本年が実りの多い年となりますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶と致します。本年もよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。まず、昨年11月の大分市佐賀関の大規模火災により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された漁業者をはじめ地域の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

県といたしましても、大分市や関係機関と連携し、金融等の各種相談窓口の設置を含め、漁業者の皆さまの生活の再建を後押しすべく必要な支援を速やかに進めてまいります。

また、中根組合長をはじめ、大分県漁業協同組合の役員員の皆さま、そして組合員の皆さまには、日頃から県内各地域で水産業の振興に多大なご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨今の水産業を取り巻く環境は、燃油や資材価格の高止まり、気候変動による水温変化に加え、消費者の魚離れの進行など、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、県では「おおいた農林水産業元気づくりビジョン2024」に基づき、環境変化に対応しながら、豊かな海を次世代につなぐ持続可能な水産業への転換に取り組んでいます。

謹賀新年

大分県農林水産部長  
 渕野 勇



<http://www.jf-oita.or.jp/>



まず、漁船漁業では、種苗生産施設を活用した「拠点放流」一漁場整備「一資源管理」の一体的推進や鶴見市場での閉鎖型荷さばき施設の整備により、生産基盤の強化を図ります。

また、養殖業では、産学官連携によるブリの低コスト飼料の開発や、沈下式大型生簀を活用した新たな養殖技術の実証など、競争力のある生産体制づくりを進めます。

販売面では、県漁協の加工場の活用も進めながら、県産魚の消費拡大に向け、県内での学校給食への提供や「海づくり教室」の開催、量販店やキャンペーンやSNS発信など、魚食普及活動を展開します。

加えて、県外では、昨年盛大に開催された大阪・関西万博を好機としたPRをはじめ、量販店・飲食店と連携強化や、米・台湾など海外のブランド輸出拡大を通じて、県産魚のブランド力向上と販路拡大を強化します。

特に令和8年度は「おおいた県産魚の日」が10周年を迎える節目の年です。一昨年の全国豊かな海づくり大会のロゴを「おおいた魚マル」クとして魚食普及のシンボルに活用し、これまでの歩みを礎に魚の魅力や食文化を発信し、次の10年へつながる魚食の輪を広げていきます。

今後とも、貴組合をはじめ、県、関係機関が一体となつて本県水産業の成長産業化を進めていきたいと考えるております。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって実り多く、幸多き一年となりますよう心から祈念申し上げます。

連携の上、発航前点検の実施、常時適切な見張り、救命胴衣の着用など組合全体で漁船の無事故を展開しているものです。

更に大分県漁業協同組合、大分県等の水産業界が一体となつて、毎月第4金曜日を「おおいた県産魚の日」として、「おおいたの県産魚を知つて、買つて、食べよう！」とPRされており、約20年ぶりに大分で勤務する私も大分の美味しい魚を堪能しています。

安全・安心確保のため、更に尽力してまいります。

引き続き、ご支援、ご協力のほど、よろしく願います。

結びに、皆様の今後ますますのご健勝とご多幸を、また、漁と航行のご安全を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



のて迷後止方どがいはいすを普れさ域舞わをく規ま1 げり、  
と厳等継まで、数一、と、さ祈段たれがいにれ表な模し1 ます、2  
認し、者り、明年部黒、て、念の皆る一申たすら火た、1 月ずす。新0  
識い漁不、燃るぶ魚潮漁、し生さこで上さとたに大8 めの6  
し状家足、業・兆にに蛇を年おをが、もげまにも方つ分日に2  
て況経、業、飼の料が復いの巻振まり日しいす心、のま佐発0  
おりには内消高価見すて終くりす戻で復。よ被哀し賀生2  
まあつ然費齡格える漁息環返。すも被旧被り災悼、関い、のた年  
す。たとの化のたな獲に境りこ早災が災おにの、のた年  
もし低と高一 量伴ま とくさな地見遭意亡大し 上た

金井 祐行

農林中央金庫福岡支店 支店長



謹賀新年

き頭よ多様 せに課共分金お討事でに化のか 定理資経統す戦度目 改対お応は協そ  
まのりい方最て向題に県庫り深業取向に完れ大で等伸営の。略はをJめ応いじ、同の  
すご祈年に後いけの汗漁とま化の組け向遂ま分す。各や談様年最Fけマ感継組、浜合う  
。挨拶しなつなだ伴理か協た。れりれ役た加て漁 種漁機と度終マリすン申し員融事お中、  
といたま本ま所支将な組まどもにそ員種、協 策・強携引度ンと、ン上だ寄非やれ大  
せしす年し存援来が合しものつの一施経こ同 に漁化し続とバ、ン令クげいり金ニま分  
てまこがたでを像らのて農とい中丸策営れ組 取村になきナ令運またつ面ズて漁  
いしと実が。続実各様、中えも信な実盤施に 組資よが漁りク和運す。とたにに 業  
たてをり。さ現種と大央て検用つ行強策お 予管融、系 期年に。

## かぼすヒラメ・かぼすフグ 味わい美食会

11月28日、大分センチュリーホテルにおいて、旬を迎えるかぼすヒラメ・かぼすフグの「味わい美食会」を開催した。

これは、かぼすヒラメ・フグの知名度向上を図るため初めて開催したもので市場関係者や生産者、行政関係者、報道機関等23名が参加し、司会はタレントの中島知子さんが務めた。

主催者として中根組合長が挨拶したのち、大塚猛県農林水産部審議監が「今後さらなる生産拡大と知名度向上が期待される」と挨拶。

さらに生産者のコーヨーマル水産の山本裕太郎さんと高瀬水産の高瀬興治さんがそれぞれフグとヒラメをPR。会食ののち、大分魚市(株)の山上社長と(株)大分水産の仲社長にかぼすヒラメ・かぼすフグを贈呈し、一層の流通促進をお願いして閉会。

今年度のかぼすヒラメ出荷量は約68トン、かぼすフグは約1トンを見込んでいる。



中根組合長挨拶



大塚審議監挨拶



山本裕太郎さん



高瀬興治さん





大分県警と県漁協を含む県内8金融機関で、12月15日に大分中央警察署において、「特殊詐欺等の被害未然防止等を図るための情報共有に関する協定」を締結した。これは特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害を防止することを目的に締結するもので、これにより、県警から不正口座情報や金融機関に迅速に提供される。被害の拡大防止につながるものと期待される。

締結式では、初めに大分県警察本部の幡野徹本部長が「昨年度の特種詐欺等の被害件数が559件、被害金額が23.5億円で、今年度はさらにこれを上回るペース。口座の不正利用など金融機関からの情報を受け、速やかに対応することが被害防止につながる」と挨拶。その後、金融機関代表として大分銀行の池田雄常務が「本協定の締結により、詐欺被害が無くなり安心して暮らせる第一歩になることを希望する」とし、記念撮影を行い閉会した。

特殊詐欺等の被害未然防止等を図るための情報共有に関する協定締結式

## 理事会を開催

12月1日、第7回の理事会が開催され、以下の議案について、提案があり、審議された。

【議案】

- ・第1号議案 組合員の異動について  
→計11名の組合員の異動（新規加入、資格変更等）について承認された。
- ・第2号議案 不良債権の処理方針について  
→総与信額1千万円を超える者に対する処理方針が承認された。
- ・第3号議案 令和7年度・仮決算概要について  
→養殖ブリの成長不良等により加工センターの処理尾数が減少するなど3月末見込みで2.7億円の赤字見込みであることが報告された。新たな販売先の開拓や経費の削減の努力を行うべきなどの意見が出され、承認された。

また【協議報告事項】について、以下の報告があった。

- ① 大分市佐賀関地域大規模火災に関する対応について
- ② 令和7年度上半期・内部検査実施報告について
- ③ 余裕金の運用状況報告について
- ④ 2025年度JFマリンバンク体制整備モニタリング及び無通告オンサイト点検の報告について

## 令和7年度漁村女性リーダー研修会

12月12日、水産会館において漁村女性リーダー研修会が開催された。

来賓の中根組合長の挨拶ののち、まず「海難防止講習会」と題して大分海上保安部 交通課の麻生、田端氏から説明があった。

毎年多くの海難事故が発生するが、漁船のうち44%が航行不能によるもので、海に落ちた場合に備えて、「救命胴衣を必ず着用する」「携帯電話のGPS機能をONにする」「家族に行き先、帰宅時間等を伝えておく」ことが重要であること、さらにエンジントラブルがないように定期的な点検等を怠らず、見張りも十分行うことなどが事故防止につながるとした。

その後、共水連の職員から「あしすと＝一時払い介護共済について」の説明とVTR視聴もあり、共済事業の理解を深めた。最後に女性部活動についての報告があり、閉会した。

研修会終了後は近くの居酒屋で、懇親した。



席	原	した	で	を	最	激	を	果	を	で	説	い	レ	を	一	て	同	知	祭	浪	天	
綜	了	な	内	を	後	励	を	の	を	と	明	る	ー	を	貫	た	席	事	で	水	1	
合	竹	お	閣	を	に	の	を	引	確	う	知	シ	を	保	し	ビ	第	当	第	産	2	
農	田	な	総	を	出	言	を	き	で	ご	事	ア	能	き	て	ル	4	日	大	月	3	
場	市	お	理	を	席	葉	を	続	行	ざ	は	等	も	て	自	酵	回	は	喜	2	日	
の	荻	回	大	を	者	を	を	き	く	い	ら	に	輸	マ	社	母	全	報	代	3		
代	町	は	臣	を	で	いた	大	分	こ	ま	は	も	出		加	与	国	告	表	日		
表	の	畜	賞	を	記	だ	の	の	と	す	一	組	し		工	え	農	し	ら	浪		
も	荻	産	受	を	念	き	漁	結		永	組	出			な	ら	林	が	井	井		
出	町	部	賞	を	撮	と	業			年	み	し			を	も	水	県	大	大		
	高	門			影						を				育	も	江	庁	喜	浪		
											を				を	佐	の	庁	代	井		
											を				を	藤	の		表	井		
											を				を				ら	大		

天皇杯受賞を  
知事に報告

あけましておめでとうございます。今期はクリスマス前までは比較的暖かい日が多く、寒さに弱い小牛牛にとつてはううれしい限りです。この欄は、前後に書いておる通り、正月かなど書ける訳もないが、たぶん今年も普段買わない少し高い酒と魚（肴？）を食べ、TVで駅伝観ながらだらだらと過ごしているのでしょう。今年は災害の無い、穏やかな年になり（大）ますように。

## 編集後記